

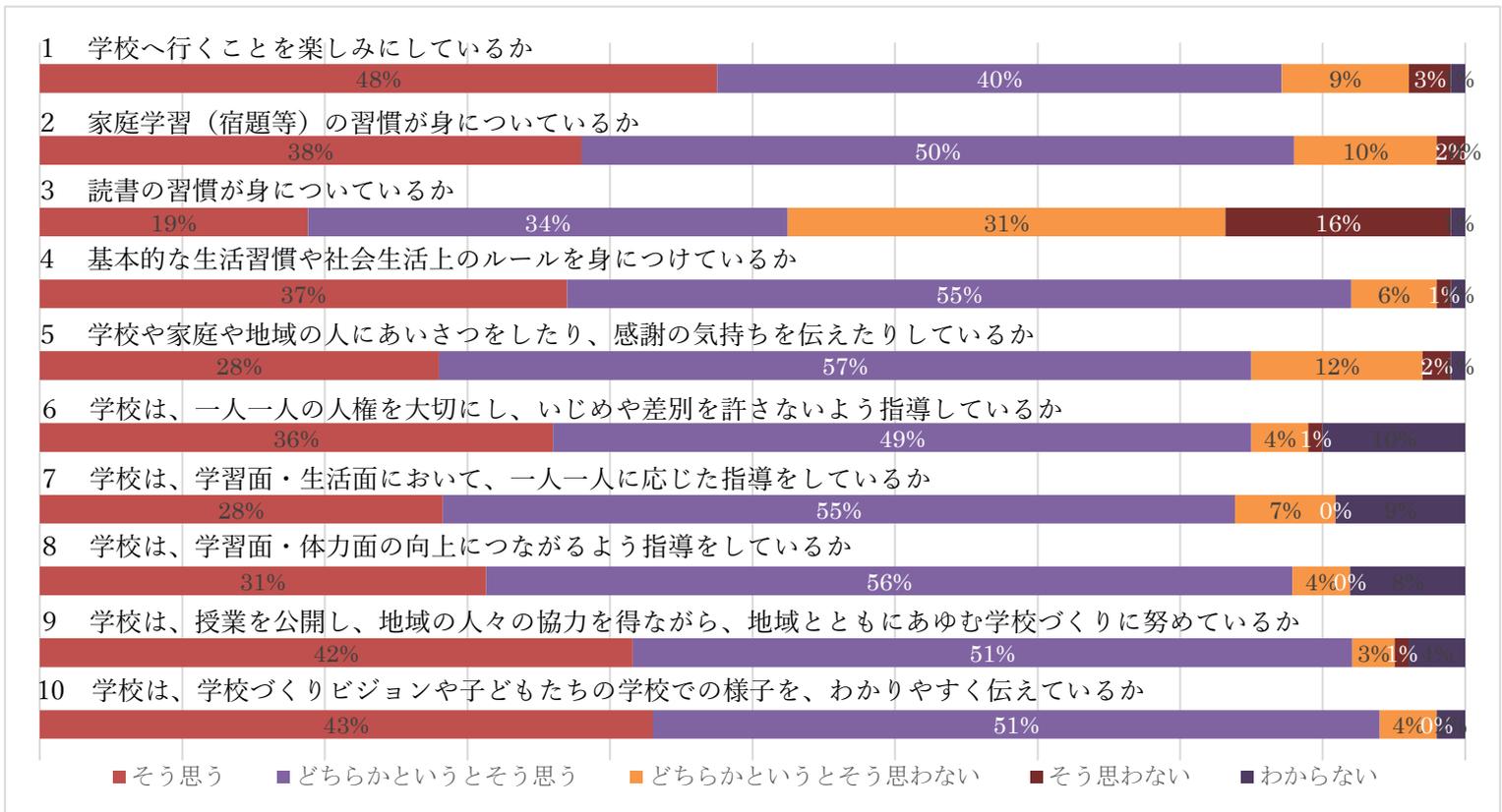
保護者様

四日市市立大矢知興譲小学校
校長 坂下 亮介

学校評価アンケートの結果について

1 保護者アンケート結果

肯定的回答（「そう思う」「どちらかというと思う」）の数値をもとに、昨年度のアンケートとの比較を行いました。全10項目のうち、昨年度より4項目が上昇しました。



《主な項目の分析》 ○：評価数値が2ポイント以上上昇 ●：評価数値が2ポイント以上下降

○質問2 家庭学習（宿題等）の習慣が身についているか

昨年度84%から88%に4ポイント上昇しています。記述式回答からは、「帰宅したら、すぐに始められている。」「何も言わなくても進んで忘れることなく行っている。」等、習慣化している子がいることがわかりました。一方で、「嫌々しているので、取り掛かるまでに時間がかかる。」「(習い事等で)宿題をする時間がない。」「言わないとやらない。」等の課題は昨年同様みられます。数値結果の上昇は、年度初めに配付した「家庭学習の手引き」をもとに、各家庭の協力が大きく影響していると思われます。今後も、ご家庭での声かけや取り組み方についてご協力をお願いいたします。学校としては、「家庭学習の手引き」を見直し、さらにご協力いただけるものに改善していくとともに、各学級で宿題や家庭学習のやり方について、指導していきたいと思っております。

○質問3 読書の習慣が身についているか

昨年度 50%から 53%に 3 ポイント上昇しています。校舎改修工事に伴い学校の図書室が狭くなり、コロナの影響で入室に制限をかけてきたにもかかわらず、数値が上昇したのは、記述式回答に「図書館祭りが大好き」等の学校の取り組みによるもの、「親子で一緒に読むのが好きです」等の家庭での習慣化によるものであると思われます。しかし、本年度においても 50%台であり、学校としては、朝読の実施、学期ごとの学級文庫入れ替え等、読書のきっかけづくりを進めています。

○質問5 家庭や地域の人にあいさつをしたり、感謝の気持ちを伝えたりしているか

昨年度 83%から 85%に 2 ポイント上昇しています。この項目については、中学校区でも重点的に取り組んでおり、「あいさつ委員会」の設置も上昇の理由と考えられます。記述式回答には「人見知りが強いので、良く関わる人にしか挨拶出来ない。」「登下校での挨拶は出来てないです。高学年で挨拶が出来る子がもっと増えるといいお手本になってくれると思います。」「旗当番で挨拶が出来ない子が多いと思いました。」といったことが書かれていました。あいさつの意味や感謝の気持ちを伝える大切さを子どもたちに伝えていくことで「あいさつも笑顔もいっぱい」な学校・家庭・地域づくりをめざしたいと思います。

●質問8 学校は、学習面・体力面の向上につながるよう指導をしているか

この項目については 89%から 87%に 2 ポイント下降しました。記述式回答には「校舎の増築に伴い、校庭が狭くなったことで子どもの運動量が極端に減りました。とても残念です。」等が見られました。休み時間の外遊びでは、学年ごとに遊べる曜日を設定してきましたが、天候により 1 週間に一度も外で遊べないこともありました。また、コロナの影響で体育の時間には友だちと密になるような運動を避けてきました。3 学期には、運動場が元の広さに戻り、休み時間の外遊びに制限がなくなりました。今後も学校づくりビジョン3「健康・体力の向上」に向け体育の時間の工夫や健康に対する意識づけを行う等改善を進めています。

●質問9 学校は授業を公開し、地域の人々の協力を得ながら、地域とともに歩む学校づくりに努めているか

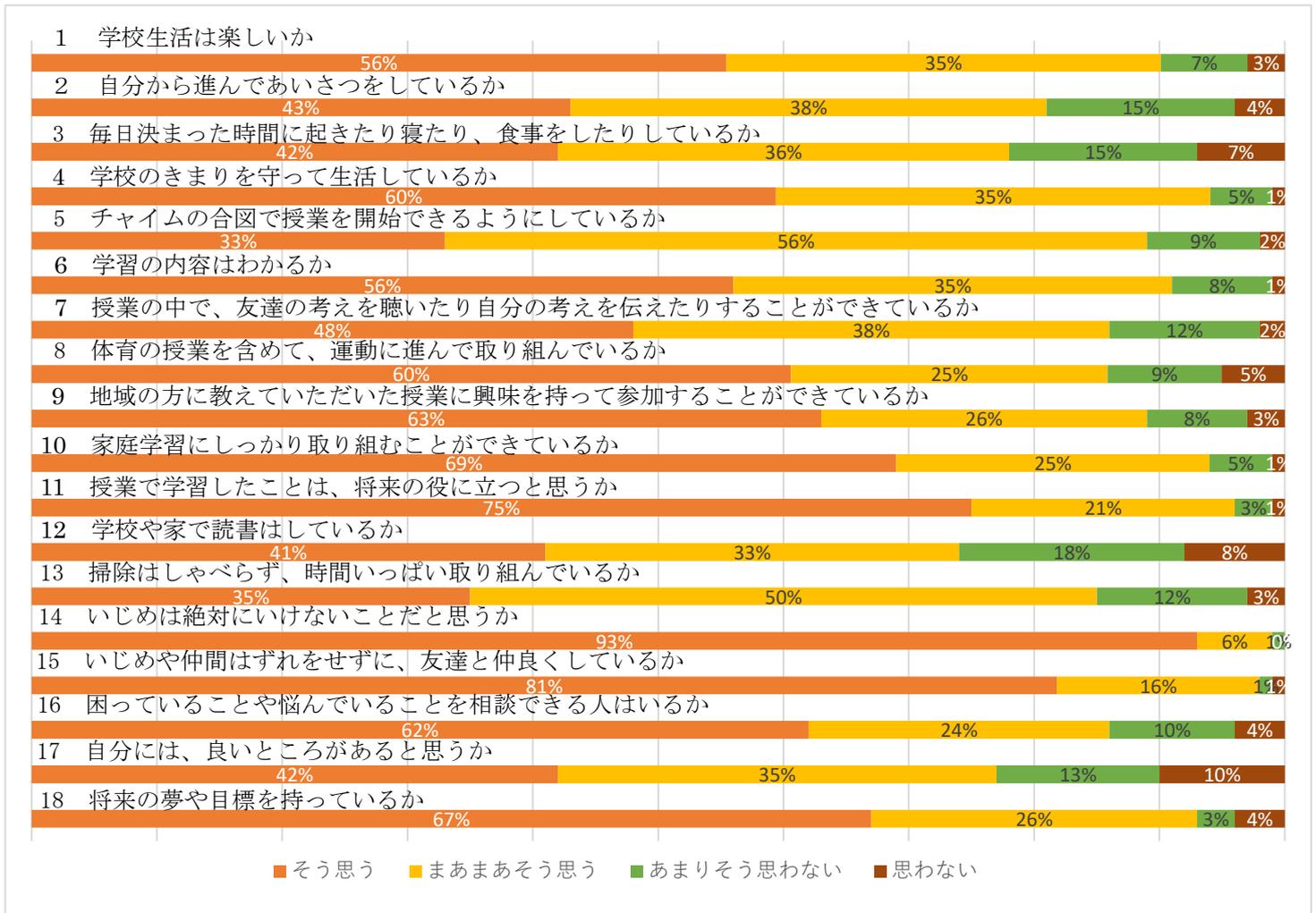
昨年度 96%から 93%に 3 ポイント下降しました。コロナ禍で対応が難しく、従来通りにできないこともありました。特に学校公開の中止等、学校に来ていただく機会が減ってしまったことが課題として挙げられます。記述式回答では「学年のホームページの更新が少ない。」「学級通信はなくなったのでしょうか。」というものがああり、今後も家庭や地域との連携を大切に、様々な発信ができるように努めたいと思います。

◇昨年度と変化のなかった項目(0%及び±1%)の中に、質問1 学校に行くことを楽しみにしているか があります。一昨年度から昨年度は 2 ポイント下降、昨年度より本年度は 1 ポイント下降しました。新型コロナウイルスによる休校の影響があるのではないかと考えられます。記述式回答では、「楽しく学校に行っている。」といった意見がある一方で、友達関係の悩み、苦手な教科、週明けや天候等で登校したくないといった理由も見られました。様々な理由が考えられますが、一人一人に寄り添って対応していきたいと思います。

その他、自由記述欄にたくさんのご意見をいただきました。落ち着いた環境で授業を受けることができるよう学習規律を徹底したり、子どもたちが安心して質問できるよう朝学習や休み時間の利用を工夫したりすることで、子どもたちのニーズに応えてまいります。

2 児童アンケート結果

肯定的回答（「そう思う」「どちらかというと思う」）の数値をもとに、昨年度のアンケートとの比較を行いました。全18項目中のうち、昨年度より7項目が上昇しました。



《主な項目の分析》

○「4 学校のきまりを守って生活しているか」は肯定的回答 92%→95%、「6 学習の内容はわかるか」は肯定的回答 90%→91、「7 授業の中で、友達の考えを聴いたり自分の考えを伝えたりすることができているか」は肯定的回答 84%→86%となりました。3項目の上昇から、規律を守り、多くの子どもたちが授業に満足し充実した学校生活を送っていると言えます。また、「13 掃除はしゃべらず、時間いっぱい取り組んでいるか」は肯定的回答 81%→85%と4ポイント上昇し、18項目の中で一番上昇しました。

○保護者アンケートの質問項目2の上昇に関連し、「10 家庭学習にしっかり取り組むことができているか」は肯定的回答 91%→94%と3ポイント上昇しており、子どもたちも家庭学習での取り組みを自覚しています。

○昨年度同様に高い数値を継続しているのは、「14 いじめは絶対にいけないことだと思うか」（肯定的回答 98%→99%）「15 いじめや仲間はずれをせずに、友達と仲良くしているか」（肯定的回答 96%→97%）。いじめを許さず安心・安全な学校づくりを今後も続けていきます。

●「1 学校生活は楽しいか」は、肯定的回答 91%と昨年度よりも1ポイント下降しました。保護者アンケートの質問項目1も同様に下降しています。「8 体育の授業を含めて、運動に進んで取り組んでいるか」は肯定的回答 87%→85%と、昨年度より2ポイント下降しています。「勉強がわかる、授業が楽しい」だけでなく、運動をする、おもいっきり休み時間に外で遊ぶことで学校生活をさらに楽しいものにしていきます。

●「17 自分に良いところはあると思うか」は、肯定的回答 80%→77%と3ポイント下降しました。また、「18

「将来の夢や目標を持っているか」は、肯定的回答 94%→93%とわずかに下降しています。子どもたち一人一人がより主体的、積極的に学習、生活することを通して自信を持ち、友達とのかかわりや学校生活の中で一層自己有用感（自分は大切な存在だ・いろいろなことに自信を持って取り組める）を高められるよう、今後も、日々の言葉かけや教育環境の整備に努めます。

紙面の都合上、全てのご意見をご紹介することはできませんでしたが、保護者の皆様からいただきました貴重なご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、日々の教育活動を工夫・改善することで、子どもや保護者、地域の皆様から、さらに信頼される学校づくりを進めていきたいと考えます。

お忙しい中、アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。